

---

---

# 基本構想実施計画（26～28年度）指標案

## 《子育て・教育分野》

---

---

### 目次

#### 子育て・教育

子育て支援	1
教育	5
青少年の健全育成	9



# 1-1 子育て支援

## 1 将来像

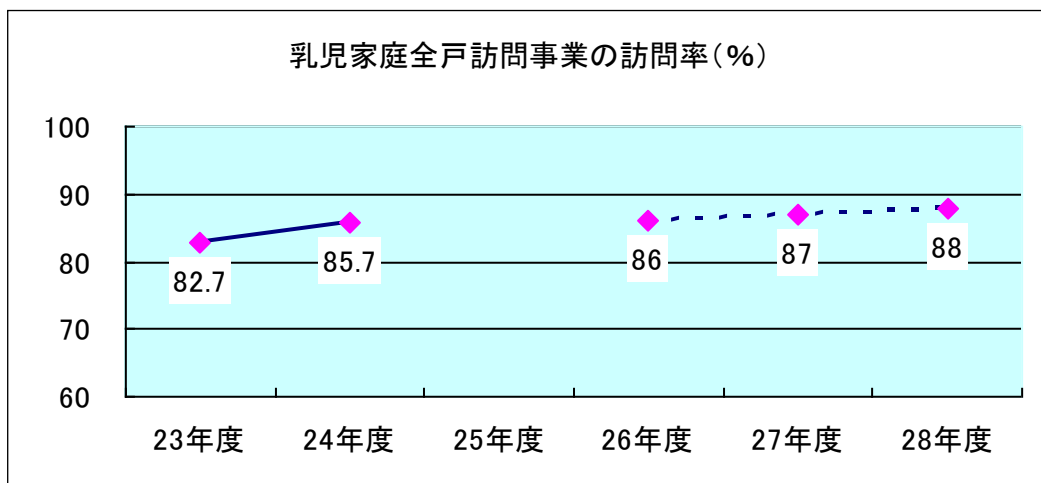
地域の思いやりにあふれた「おせっかい」の輪の中で、

みんなが楽しく育ち合えるまち

子どもと大人が笑い声の中で、楽しく安心して育ち合い、それを区民や子育てにかかわるすべての人たちが、思いやりにあふれた「おせっかい」の心で支え合うまちを目指します。

## 2 今後3か年の進行を管理する主な指標

### (1) 子どもの健やかな成長と子育て家庭の健康を支援



#### 【指標の設定理由】

核家族化とともに少子化が進む中で、両親ともに育児に関する知識・経験に乏しく、また、周囲からの支援を受けることが困難な状況となっています。

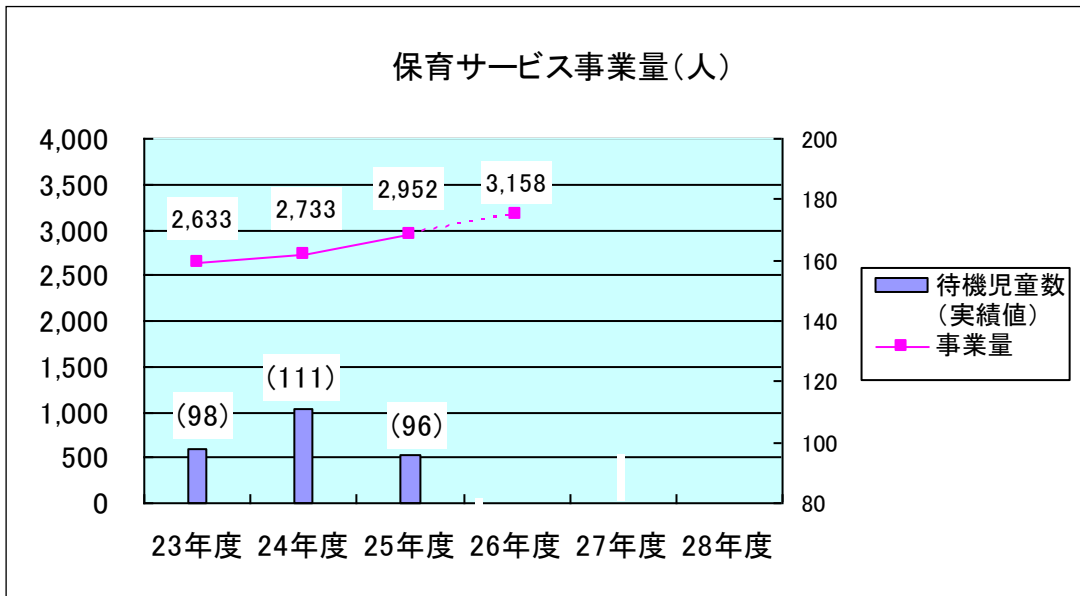
そのため、生後4か月以内の乳児がいるすべての家庭を対象に保健師又は助産師が訪問し、母子の健康管理や子育てに関する情報提供を行うとともに、支援が必要な家庭を把握し、関係機関と連携して適切な支援に結びつけていきます。

このことにより、虐待の発生を予防し、子どもが健やかに育成できる環境の確保につながることから、子育て支援の成果指標として乳児家庭全戸訪問事業の訪問率を設定するものです。

#### 【目標値の考え方】

事業の周知による出生通知票受理数の増加や未提出家庭に対しては保健師が直接訪問することにより、訪問率は高水準で推移していることから、平成28年度までに訪問率88%を目指します。

(2) 質の高い幼児期の保育・教育の総合的提供と保育の量的拡大



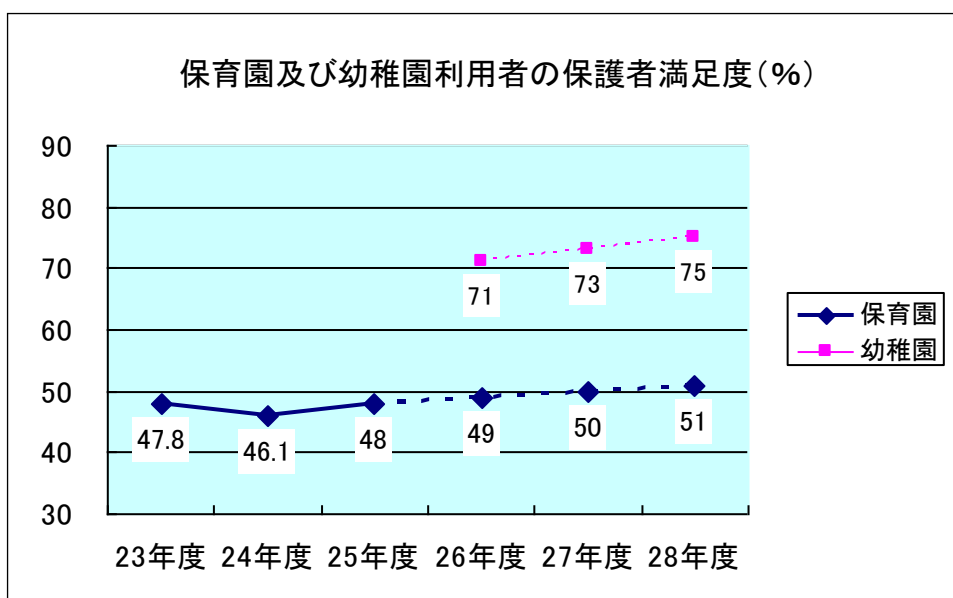
**【指標の設定理由】**

子育てと仕事の両立を支援し、待機児童を解消するため、私立認可保育所の整備を中心とした保育サービス事業の拡充に取り組みます。この取り組みの充足状況を計るため、毎年度4月当初の保育サービス事業量を指標とします。

**【目標値の考え方】**

待機児童の解消のために保育計画に掲げた保育サービス事業量の達成を目指します。待機児童数については各年4月1日時点の実績値を記載します。

なお、平成27年度以降については、子ども・子育て支援新制度の指針に則り、新しい保育サービス事業量の考え方による目標値を設定します。



**【指標の設定理由】**

○保育園

保育内容の充実を図り、区立保育園における保護者アンケートで保護者の満足度を把握します。その結果に基づき、更なる保育の質の向上を目指します。

○幼稚園

教職員は、幼児・児童・生徒一人ひとりの思いや願いなどを含めて理解し、成長を支援しなければなりません。また、保護者や地域住民のニーズや要望を的確に把握し、学校運営に反映させていくことが、信頼される学校づくりにつながります。このことは、就学前から重要なことから、学校評価における園の満足度を成果指標とします。

**【目標値の考え方】**

○保育園

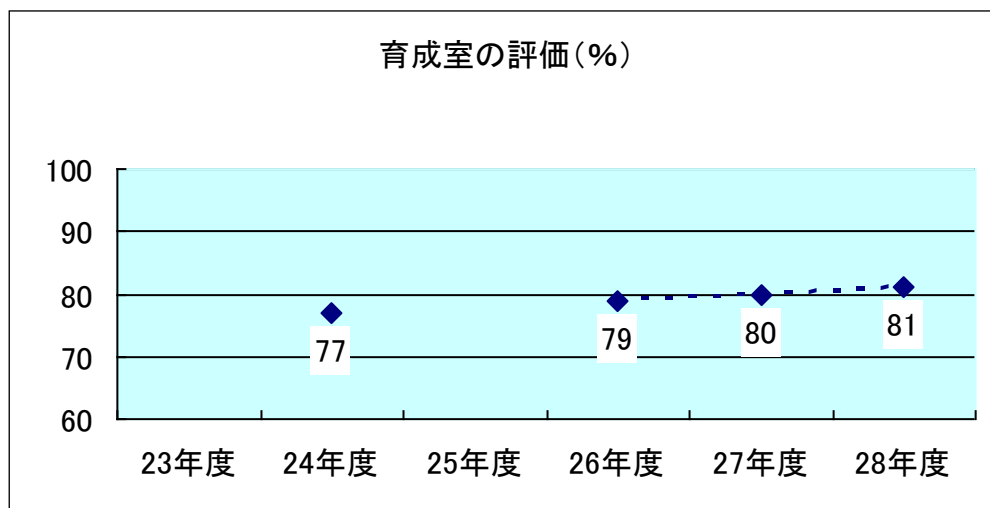
区立保育園保護者アンケートの「総合的評価」において、過半数の保護者から「大変満足している」と評価される保育サービスを目指します。

○幼稚園

本指標の実績値はありませんが、各園が実施している保護者アンケートの「本園の教育活動に満足しているか」項目における「とてもそう思う」と回答した平均（4段階評価の7園と5段階評価の3園の平均回答率）は69.3%です。

このことから平成28年度の目標値を75%に設定します。

### (3) 子育て支援の充実



#### 【指標の設定理由】

区内すべての育成室において、統一の内容に基づくアンケートを実施し、保護者のニーズ等を的確に把握することで、保育の質の向上を図ります。

#### 【目標値の考え方】

育成室保護者アンケートにおいて、保育指針に沿った育成室の運営を尋ねており、各設問に対し「はい」（できている）と回答しているものを「評価」とし、その平均を求めます。概ね80%を目標として設定します。

# 1-2 教育

## 1 将来像

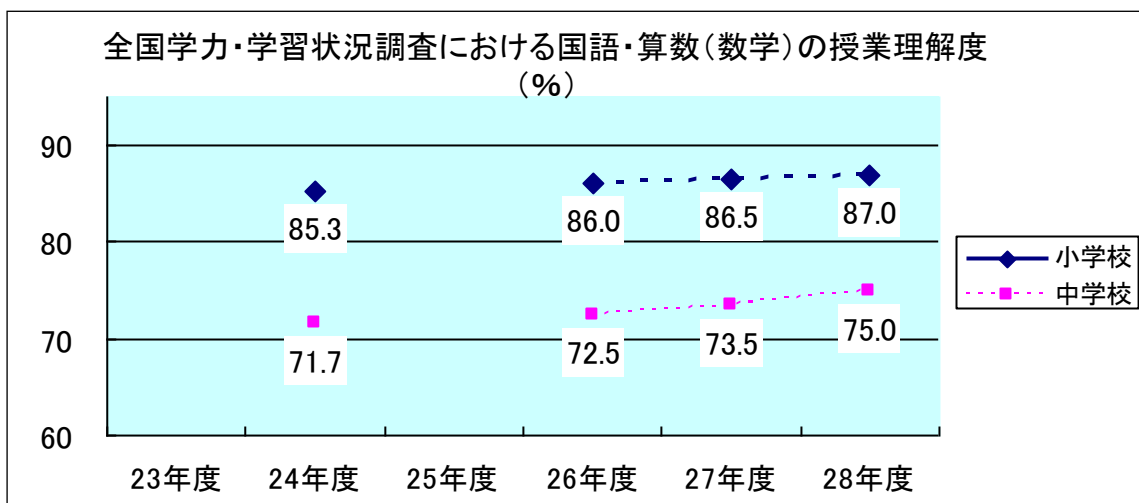
豊かな環境と人とのかかわりの中で、

子どもが「個」として尊重され、共に学び合うまち

文京区は、緑や歴史、文化、教育環境などに恵まれています。そのような中で、学校や地域での人とのかかわりを通して、豊かな知性と確かな学力や他人を思いやる心を身に付けるとともに、学校を核として家庭や地域が連携し、子ども一人ひとりが「個」として尊重され、共に楽しく学び合うまちを目指します。

## 2 今後3か年の進行を管理する主な指標

### (1) 自ら学び考え課題を解決する子どもの育成



#### 【指標の設定理由】

改訂された学習指導要領では、基礎的・基本的な知識・技能の習得並びに習得した知識等を活用し、問題解決するために必要な思考力・判断力・表現力及び体験活動を通して主体的に学習に取り組む態度を育成することが求められています。現在策定中の教育振興基本計画では、「生きる力」＝「知・徳・体のバランスのとれた力」の育成が今後の教育施策の柱となることから、「知」の成果指標として、児童生徒の授業理解度を設定するものです。

### 【目標値の考え方】

「全国学力・学習状況調査／「国語、算数（数学）の授業は理解できる。」項目における肯定度（国語「とてもそう思う」「そう思う」の合計＋算数（数学）「とてもそう思う」「そう思う」の合計）

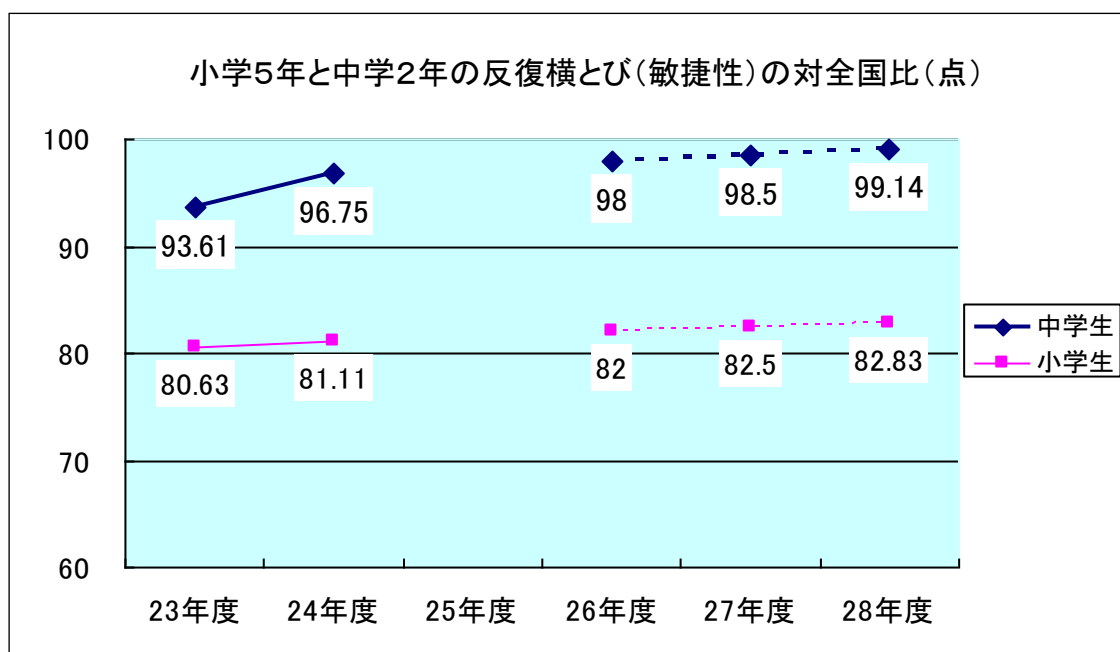
#### 【小学校】

過去の実績において、85%台の児童が授業を理解していると回答していることから、平成28年度までに2%アップを目指します。

#### 【中学校】

平成22年度65.7%、24年度71.7%と回答率が上がっていることから平成28年度までに22年度より10%アップの75%を目指します。

## (2) 体力・健康の増進



### 【指標の設定理由】

新学習指導要領の体育科の改訂の方針として、「体を動かすことが、身体能力を身に付けるとともに、情緒面や知的な発達を促し、コミュニケーション能力を育成することや論理的思考力をはぐくむことにも資することを踏まえ、それぞれの運動が有する特性や魅力に応じて 基礎的な身体能力や知識を身に付け、生涯にわたって運動に親しむことができるように 指導内容を整理し体系化を図る。」ことが挙げられています。現在策定中の教育振興基本計画では、「生きる力」＝「知・徳・体のバランスのとれた力」の育成が今後の教育施策の柱となっていることから、体力向上は本区において重要な課題です。このうち「体」の成果指標として、文京区の児童・生徒の体力測定結果が国や都の結果と比べ、特に思わしくない基礎的な身体能力の当該項目を設定するものです。



### 【目標値の考え方】

「東京都児童・生徒 体力・運動能力、生活習慣等調査」における小学5年と中学2年の反復横跳び（敏捷性）の対全国比（男子の平均値＋女子の平均値の合計）

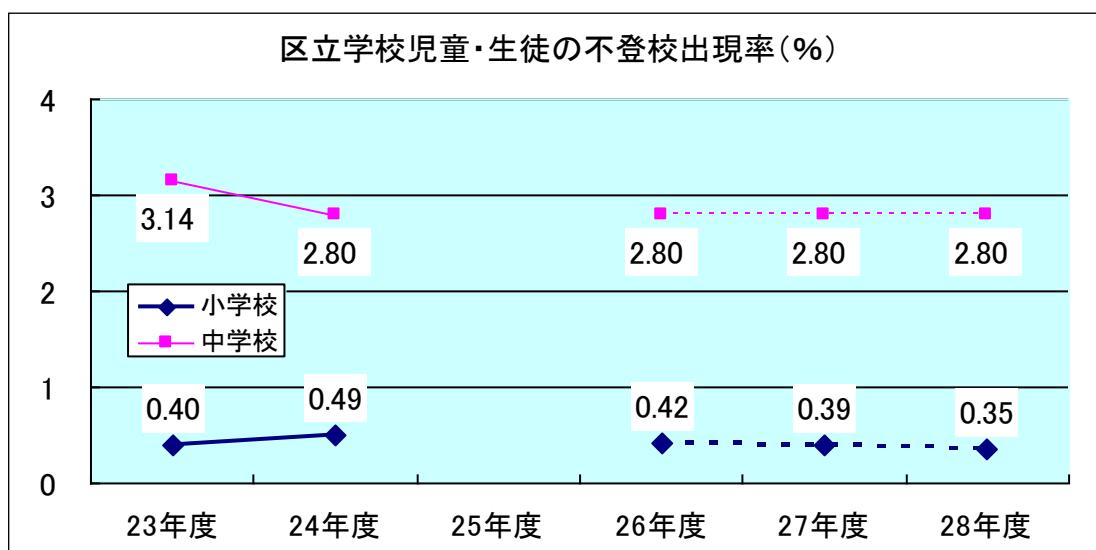
#### 【小学生】

区の値が男女とも全国平均より下回るため、平成28年度までに24年度の全国平均（男女の合計82.83点）を上回ることを目指します。

#### 【中学生】

区の値が男女とも全国平均より下回るため、平成28年度までに24年度の全国平均（男女の合計99.14点）を上回ることを目指します。

### (3) 個が輝き、共に生きる教育の推進



### 【指標の設定理由】

知識基盤社会化やグローバル化に伴い、自分と異なる考えや文化等との共存や協力の必要が求められる状況において、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことがますます重要になっています。現在策定中の教育振興基本計画においても、「生きる力」＝「知・徳・体のバランスのとれた力」の育成が今後の教育施策の柱となっています。しかしながら、文京区の児童・生徒の不登校出現率は国や都の値と比べ高く、このことは、本区の学校教育における「生きる力」の育成の上で重要な課題と認識されています。このことから平成23～25年度実施計画の指標となっている同項目を継続して設定します。

### 【目標値の考え方】

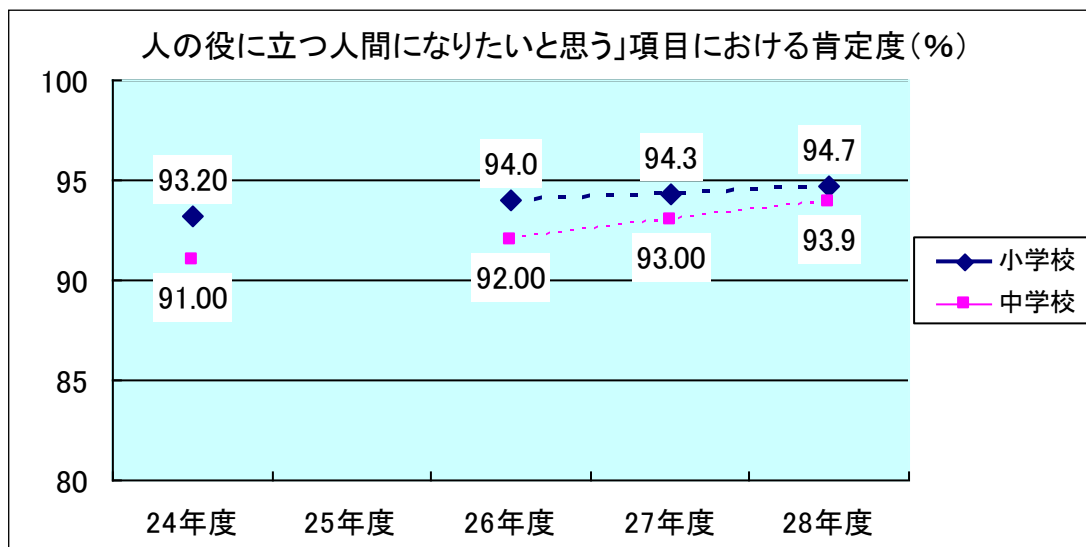
#### 【小学校】

区の不登校出現率が毎年連続で国・都の値より上回っている状況です。平成 28 年度までに都の 22、23 年度の平均値 0.35%を目指します。

#### 【中学生】

区の不登校出現率が、平成 23 年度まで毎年連続で国・都の値より上回っていた状況でした。平成 24 年度は都の 23 年度値を下回り 2.80%になりました。平成 22、23 年度の都の平均値は 3%ですが、平成 24 年度の値 2.80%を維持することを目指します。

## (4) 豊かな人間性の育成



### 【指標の設定理由】

現在策定中の教育振興基本計画では、「生きる力」＝「知・徳・体のバランスのとれた力」の育成が今後の教育施策の柱となっています。このうち「徳」の成果指標として、課題として認識されている当該調査項目を成果指標とします。

### 【目標値の考え方】

「全国学力・学習状況調査」/「人の役に立つ人間になりたいと思う」項目における肯定度（「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」の合計）

#### 【小学校】

区の値が国・都の値より下回るため国の平成 24 年度の国の値 94.7%を上回ることを目指します。

#### 【中学校】

区の値が国・都の値より下回るため国の平成 24 年度の国の値 93.9%を上回ることを目指します。

## 1-3 青少年の健全育成

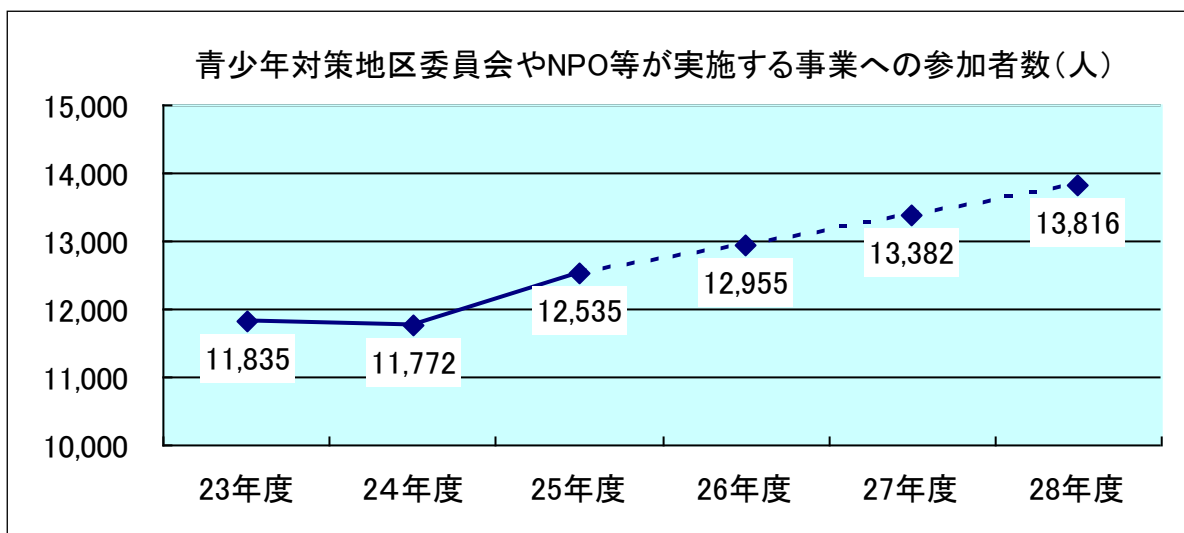
### 1 将来像

地域で人とのかかわりを学びながら、光る笑顔の青少年が育つまち

未来を担う青少年一人ひとりの自主性を尊重し、開かれた地域の中で、人とのつながりを大切にする心を育てていくまちを目指します。そして、青少年が笑顔で輝きながら、自立して社会の中で成長していくとともに、思いやりの心を持てるよう、青少年を受け止め、支え、共に歩いていくまちを目指します。

### 2 今後3か年の進行を管理する主な指標

#### (1) ふれあいや社会参加の機会の充実



#### 【指標の設定理由】

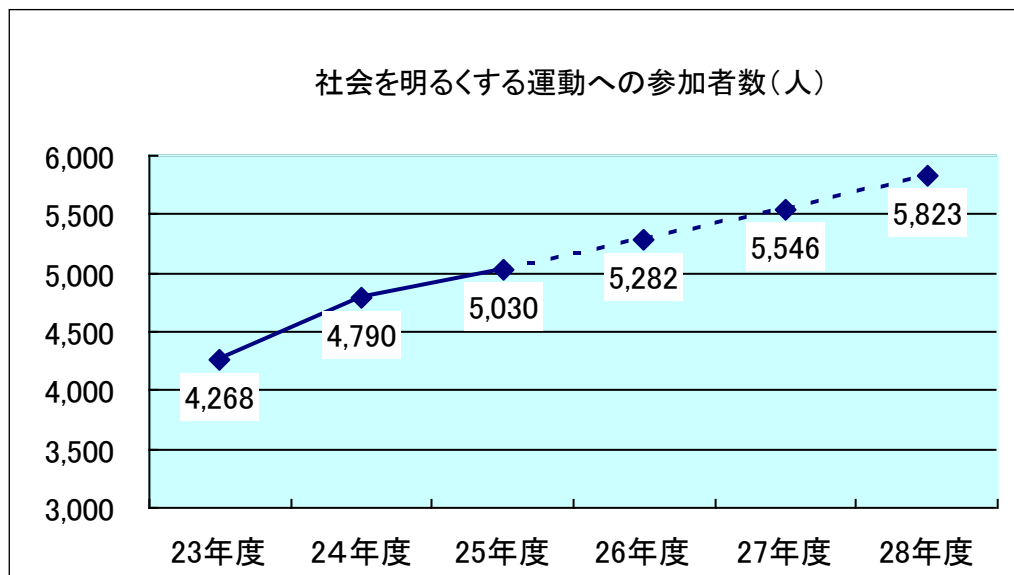
青少年が社会性を身につけ自立した大人に成長していくためには、地域の中で様々な大人との関わりを持つことが重要です。現在、青少年健全育成を総合的に推進する青少年対策地区委員会や区内NPO等が実施する事業に対し補助を行っています。

より多くの子どもたちが、地域の人との関わりの中で社会性を育むことができるよう、青少年対策地区委員会が実施する事業や区内NPO等が実施する青少年の社会参加推進事業への参加者数を指標とします。

#### 【目標値の考え方】

将来的な子どもたちの人口の推計(5歳~14歳)や、青少年対策地区委員会の活動のさらなる発展を踏まえ、年間延べ13,000人を超える参加者を目指します。

## (2) 更生保護と非行防止



### 【指標の設定理由】

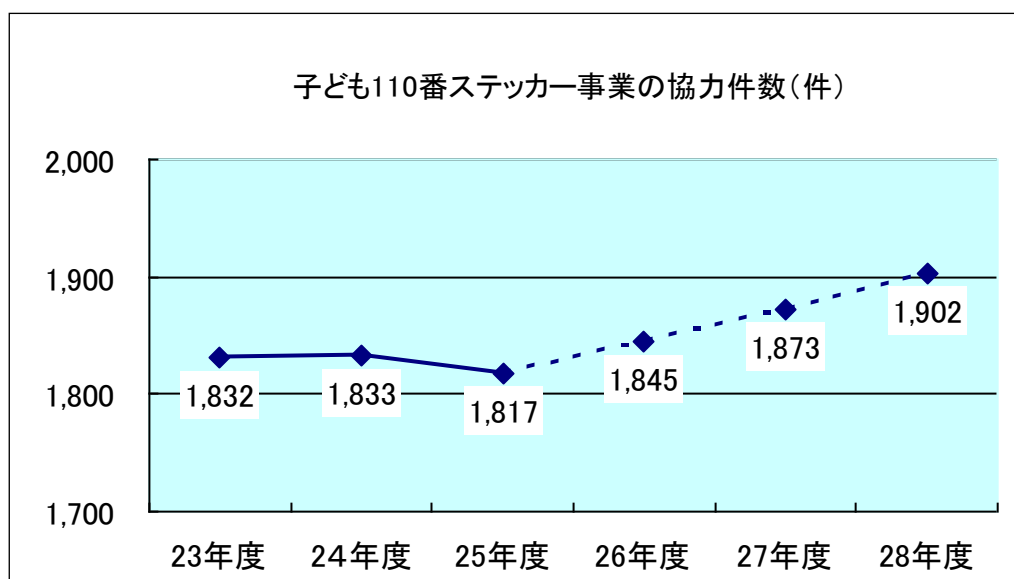
犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする、全国的な運動である「社会を明るくする運動」を推進するため、文京区社会を明るくする運動推進委員会を設置し、運動の趣旨を呼びかけるための啓発活動を行っております。

より多くの大人や子どもたちに運動の趣旨を呼びかけるため、本事業への参加者数を指標とします。

### 【目標値の考え方】

地域活動団体やPTA等への周知の拡大及び過去の実績を踏まえ、毎年5%の増加を目指します。

## (3) 地域での見守り



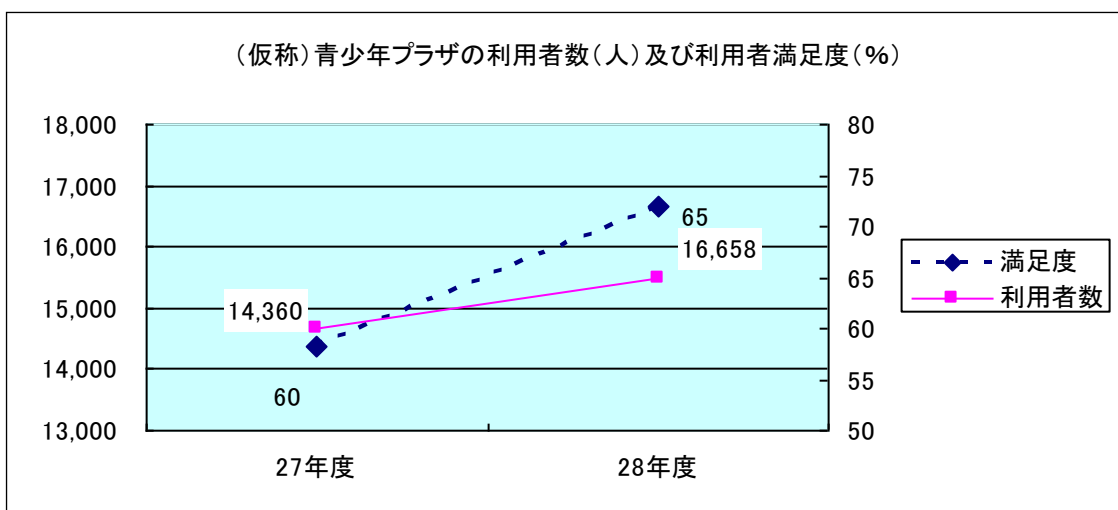
### 【指標の設定理由】

緊急時に子どもが駆け込める緊急避難所を示す、子ども110番ステッカー事業を充実させていきます。子どもたちにとって、より安全な地域環境を形成するため、本ステッカーの協力件数を指標とします。

### 【目標値の考え方】

区立小学校PTAの協力により、ステッカー貼付箇所の確認と新規協力の依頼を行い、28年度までに1,900件を上回ることを目指します。

## (4) 自立のきっかけづくり



### 【指標の設定理由】

近い将来、社会へ巣立っていく中高生世代が、社会性を身につけ自立した大人に成長するためには、家庭や学校以外に、のびのびと活動でき、自らの可能性を広げることができる居場所が必要です。

より多くの中高生が、自主的な活動を通じて自立した大人へ成長していく機会が持てるよう、平成27年4月開館予定の(仮称)青少年プラザの利用者数及び利用者満足度を指標とします。

### 【目標値の考え方】

区の青少年人口(13~18歳)等を参考に、開館初年度は14,000人、2年目は16,000人を超える利用者を目指します。

また、利用者アンケートを実施し、「満足している」という利用者の割合を毎年5ポイント増加させることを目指します。